

2025年度
国立看護大学校 研究課程部
看護学研究科

後期課程（博士課程相当）

学 生 募 集 要 項

国立看護大学校

**国立看護大学校 研究課程部 看護学研究科 後期課程（博士課程相当）
学生募集要項**

1 募集人員

専門分野		募集人員
政策的機能看護学	国際看護学 看護教育学 看護情報・管理学 看護管理学 看護情報学 基礎・クリティカルケア看護学	3名程度
先駆的臨床看護学	成人看護学 精神看護学 成育看護学 小児看護学 母性看護学・助産学 長寿看護学 老年看護学 地域・在宅看護学 感染管理看護学	

2 事前面談

出願を希望する者は、出願前に必ず志望する専門分野の研究指導教員と面談してください。
 なお、出願資格審査が必要な場合は、出願資格審査書類提出前に面談してください。
 詳細は「16 問い合わせ先」へお問い合わせください。

3 出願資格

保健師、助産師又は看護師のいずれかの免許を有し、次の(1)～(6)の一つに該当する者とする。

- (1) 本学研究課程部看護学研究科前期課程（修士課程相当）を修了した者又は2025年3月修了見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条の規定に基づき、修士の学位又は専門職学位を有する者又は2025年3月までに有する見込みの者
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2025年3月までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2025年3月までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院相当として文部科学大臣に指定された外国の学校を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は2025年3月までに授与される見込みの者
- (6) 前各号に掲げる者のほか、本学研究課程部において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに24歳に達する者

4 出願資格審査

3の出願資格(6)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を受けてください。

(1) 審査書類

①	出願資格審査願	本学指定の用紙(様式D-資格審査1)に、必要事項を記入してください。
②	出願資格認定審査調書	本学指定の用紙(様式D-資格審査2)に、必要事項を記入してください。
③	卒業証明書	最終出身学校の卒業証明書を提出してください。 ※保健師・助産師養成機関、教員養成機関、認定看護師養成機関等を卒業又は修了している場合は、その養成機関等の証明書、それ以外の者は、看護師養成機関の卒業証明書を提出してください。
④	免許証の写し	保健師、助産師又は看護師のいずれかの免許証の写しを提出してください。
⑤	研究業績等目録	本学指定の用紙(様式D-資格審査3)に、必要事項を記入してください。 ア 論文: 著者名、題名、掲載誌、巻、頁、年を明記する。 ※保健師、助産師、看護師の実務を通して作成された看護に関する論文一つを選定し、論文の写しとその要旨(様式D-資格審査4)を添付すること。論文は単著のものとするが、共著の場合は、申請者が筆頭著者のものに限る。 イ 著書: 著者名、書名、題名、出版社、発行年を明記する。 ウ 学会等発表: 発表者名、演題名、学会名、場所、年を明記する。 エ 社会活動の概要: 専門職としての社会活動について明記する。
⑥	研究計画書	本学指定の用紙(様式D-資格審査5)に、必要事項を記入してください。
⑦	審査結果通知用 返信封筒	定形封筒(長形3号)に郵便番号、住所、氏名を明記し、434円分の切手(簡易書留料金含む)を貼ったものを同封してください。

※ 審査書類のうち本学指定の用紙については、本学ホームページからダウンロードして使用してください。
※ ホームページURLは、http://www.ncn.ac.jp/examination/grad/030/023_guide.html です。

(2) 出願資格審査書類提出期間

2024年8月6日(火)～8月16日(金) 必着

(3) 出願資格審査結果の通知期日

2024年8月22日(木)

(4) 出願資格審査書類の提出先

国立看護大学校事務部学務課(研究課程部入試担当)

〒204-8575 東京都清瀬市梅園1-2-1

※封書の表書きに「後期課程出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。

5 出願手続

(1) 出願期間及び方法

2024年8月23日(金)～9月2日(月) (9月2日必着)

出願は、郵送のみ(書留速達郵便)とし、出願期間内に本学事務部学務課あて送付してください。

※封書の表書きに「後期課程入学出願書類在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類

出願者は、次に掲げる①～⑪の書類を出願期間内に提出してください。

①	出願票	本学指定の用紙（様式D－出願書類1）に、必要事項を記入してください。
②	受験票	本学指定の用紙（様式D－出願書類2）に、必要事項を記入してください。
③	写真票	
④	成績証明書	出身大学等の成績証明書（厳封されたもの）を提出してください。 出願資格（1）～（5） 大学院修士課程の成績証明書 出願資格（6） 学部の成績証明書 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された場合は、出身学校も含めたそれ以降の全成績（単位修得証明書）も併せて提出してください。
⑤	修士課程（博士前期課程）修了（見込み）証明書（又は出願資格審査結果通知書）、学位記の写し	出身大学院の学長等が発行したものを提出してください。 修士の修了（見込み）証明書、学位記の写しを提出してください。 なお、本学の出願資格審査（後期課程）の認定を受けた者は、出願資格審査結果通知書の写しを提出してください。
⑥	学位（修士）論文等	修士の学位を有する者は、学位論文の写しとその要旨（様式D－出願書類3）を提出してください。なお、修了見込みの者は、学位論文として提出予定の論文及びその要旨を提出してください。 それ以外の者は論文一つを選びその写しと要旨〔本学指定の用紙（様式D－出願書類3）〕を提出してください。なお、出願資格審査を受審する際に、提出した論文の写し及びその要旨と同一のものである場合は、提出は必要ありません。
⑦	研究計画書	本学指定の用紙（様式D－出願書類4）に、必要事項を記入してください。 なお、出願資格審査を受審する際に、研究計画書を提出している場合は、提出不要ですが、修正して再提出してもかまいません。
⑧	検定料 30,000円	振込期間 2024年8月23日（金）～9月2日（月） 本学指定の振込依頼書を使用して納付してください。銀行窓口での振込（電信扱い）に限ります。なお、ゆうちょ銀行・郵便局は利用できません。また、ATM（現金自動預払機）は利用できません。納付後、振込受付証明書（お客さま用）を本学指定の用紙（様式D－出願書類5）に添付し同封してください。取扱金融機関の出納印をもって本学の領収とします。領収書はあらためて発行しませんので振込金（兼手数料）受取書は大切に保管してください。納入された検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
⑨	国籍等、在留資格及び在留期間を明示した住民票の写し ※日本国籍を有しない者のみ	日本国籍を有しない者は、市区町村長が交付する国籍等、在留資格及び在留期間を明示した「住民票の写し」を提出してください。 なお、出願書類提出前に「16 問い合わせ先」に連絡し、指示に従ってください。
⑩	返信用封筒	受験票の送付に使用するので、定形封筒（長形3号）に返信先の郵便番号、住所、氏名を明記し、「受験票在中」と朱書きして694円分（速達・簡易書留料金含む）の切手を貼付してください。
⑪	あて名票	本学指定の用紙に、合格通知書等送付先の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

※ 出願書類のうち本学指定の用紙については、本学ホームページからダウンロードして使用してください。

※ ホームページ URL は、http://www.ncn.ac.jp/examination/grad/030/023_guide.html です。

(3) 出願上の注意

- ①提出書類に不備がある場合は受理しません。
- ②受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③出願書類を受理した場合は、受験番号を付した受験票及び案内図を出願者に受験票等返信用封筒により返送します。
- ④2024年9月11日(水) 午前中までに受験票が到着しない場合は、直ちに本学事務部学務課(研究課程部入試担当)までお問い合わせください。

6 選抜方法

選抜は、学力検査、口述試験及び出願書類により行います。ただし、国立看護大学校 研究課程部(前期課程)に在籍する学生で進学を希望する者については、別途選考します。

(1) 学力検査

- ①英 語 (英和辞書を貸与します)
- ②専門科目 (志望分野に関連する問題)

(2) 口述試験

研究計画についてのプレゼンテーション(15分程度)と対面による質疑応答により行います。

7 試験日時及び試験会場

(1) 試験期日及び試験時間

- ①学力検査 2024年9月18日(水)
 - a 英 語 9時20分～10時20分
 - b 専門科目 10時40分～11時40分
- ②口述試験 13時00分～

(2) 試験会場

国立看護大学校(東京都清瀬市梅園1-2-1)

8 合格発表

2024年9月24日(火) 14時

国立看護大学校本館棟前(東京都清瀬市梅園1-2-1)に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人あて郵送により試験結果を通知します。

なお、インターネットのホームページ上にも同時刻に合格者の受験番号を掲示します。

9 入学手続

(1) 期間

2024年9月26日(木)～10月3日(木)

(2) 場所

国立看護大学校事務部学務課(研究課程部入試担当)
〒204-8575 東京都清瀬市梅園1-2-1

(3) 必要書類

- ①受験票
- ②出願時において2025年3月修了見込みにより受験した者は2025年3月31日(月)までに修了証明書を提出してください。

(4) 納付金

入学料 282,000円

本学指定の振込依頼書(合格者宛送付)を使用して納付してください。

(5) 留意事項

- ①本学が指定した期間中に入学手続きを行わなかった者は、入学辞退者として取り扱います。ただし、やむを得ない事情等により、指定した期間に手続きができない場合で本学の許可を得たときはこの限りではありません。
- ②入学手続終了後、本学研究課程部前期課程又は大学院等を修了できない等の事由が生じた場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ③納入された入学料は、返還しません。
- ④提出書類、その他詳細については、合格通知とともに合格者本人あてに郵送します。

10 授業料

年額 535,800円(予定)

授業料については、入学後に前期・後期に分けて徴収します。

また、授業料は在学中に改定される場合があります。

施設利用料を、別途、徴収します。

11 修了要件

3年以上在学して、授業科目を15単位以上修得し、特別研究論文の審査に合格すること。

12 学位

大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査及び試験に合格すると、「博士(看護学)」の学位が授与されます。

13 長期履修制度

常勤で働きながら学ぶ場合、出産・育児、介護等の事情により就学に制限がある者、大規模災害及びこれに準じる事象により履修若しくは特別研究の遂行が困難な状況であると認められる者、その他長期履修が必要となる相当の理由がある者は、この長期履修制度を利用できます。長期履修制度とは、履修期間を前期課程(修士課程相当、修業年限2年)は3年から4年に、後期課程(博士課程相当、修業年限3年)は4年から6年にすることについて、入学時に申請し認められると利用できる制度です。長期履修期間を通して納める授業料は、通常の修業年限の場合と同額です。詳細は事務部学務課(研究課程部入試担当)までお問い合わせください。

14 個人別成績の開示

本学では、研究課程部看護学研究科後期課程入学者選抜試験に係る個人別成績に関して、受験者本人(ただし、入学者は除く)から開示の請求があった場合に限り、次により英語及び専門科目の得点について開示します。

(1) 請求者

受験者本人に限ります。

(2) 請求期間

2025年4月1日(火)から5月30日(金)(土日祝日は除く)

(3) 請求方法

①窓口

次の(4)請求窓口にて国立看護大学校研究課程部看護学研究科入学者選抜試験に係る個人別成績開示請求書、受験票、宛先を明記した返信用封筒[定形封筒(長形3号)460円

分の切手（簡易書留料金含む）貼付］を提出してください。

②郵送

封書の表書きに「個人別成績開示請求」と朱書し、国立看護大学校研究課程部看護学研究科入学者選抜試験に係る個人別成績開示請求書、受験票、宛先を明記した返信用封筒（定形封筒（長形３号）４６０円分の切手（簡易書留料金含む）貼付）を下記の問い合わせ先へ郵送してください（５月３０日消印有効）。

（４）請求窓口

国立看護大学校事務部学務課

（５）開示方法

国立看護大学校研究課程部看護学研究科入学者選抜試験に係る個人別成績開示通知書を返信用封筒により郵送します。

注）「国立看護大学校研究課程部看護学研究科入学者選抜試験に係る個人別成績開示請求書」は、本学ホームページ（<http://www.ncn.ac.jp>）からダウンロードしてください（Adobe Reader7.0以上が必要です）。

15 第２次募集について

第１次募集で入学定員に達しない場合には、第２次募集（若干名）を行う場合があります。

第２次募集 試験日：２０２４年１２月１８（水）

募集を行う際は、第１次募集の入学手続き期間終了後に、ホームページでお知らせいたします。

16 問い合わせ先

国立看護大学校事務部学務課（研究課程部入試担当）

〒204-8575 東京都清瀬市梅園１－２－１

電 話 ０４２－４９５－２２１１（代表） 【内線】５１１１

E-mail grad-nyushi@ncn.ac.jp

国立看護大学校研究課程部看護学研究科の概要

国立看護大学校研究課程部看護学研究科の概要

前期課程（修士課程相当）・後期課程（博士課程相当）

（注）2024年4月現在の情報です。一部変更する場合があります。

前期課程（修士課程相当）

1 教育理念

ヒューマンケアの精神、人間の健康に対する多面的な理解、科学的・論理的な思考力に立脚し、研究を通して看護実践の科学的根拠や効果的・効率的なあり方を探究するとともに、政策医療看護学の発展とそれを通じた国内外の人々の健康と生活の質向上に貢献できる人材を育成します。

2 教育目標

- （1）健康に関わる要因を多面的に捉えて分析・考察できる能力を育成します。
- （2）研究を通して看護実践の科学的根拠を見出し、効果的・効率的な看護方法を開発する能力を育成します。
- （3）看護実践の質向上やその効果的・効率的な展開、高度実践看護を推進する能力を育成します。
- （4）政策医療看護学の発展に向けて指導役割、教育役割を担う能力を育成します。

3 教育の特徴

- 国際看護学、看護教育学、看護情報・管理学（看護管理学、看護情報学、基礎・クリティカルケア看護学）、成人看護学、精神看護学、成育看護学（小児看護学、母性看護学・助産学）、長寿看護学（老年看護学、地域・在宅看護学）、感染管理看護学の8分野から1分野を選び、専門的な学修を深めるとともに、修士（看護学）の学位取得に向けて特別研究論文を作成します。
- 特別研究論文を作成して学内審査に合格した後、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に申請し、論文の審査および試験に合格することにより、修士（看護学）の学位を取得できます。
- 専門分野の教員陣が、学生個々の関心や状況に応じて細やかに学修や研究を支援します。また、他分野の教員からも研究に対する指導や助言を得る機会が豊富にあり、それは、自己の研究や専門性に対する視野を広げたり客観視したりすることにつながります。
- 自己の関心や状況に応じて選択できる多様な共通科目が提供されています。また、共通科目の学修を通し、質の高い看護学研究を行う基盤となる知識・技術・態度を効率的に修得できます。
- 成人看護学、精神看護学、成育看護学、感染管理看護学分野は、各々、日本看護系大学協議会認定のがん看護、精神看護、小児看護、感染症看護専門看護師教育課程を開講しており、必要な科目を選択履修することで、がん看護・精神看護・小児看護・感染症看護専門看護師認定審査受験資格を得ることができます。

4 授業科目

前期課程（修士課程相当）

共通科目	政策医療看護学特論Ⅰ コンサルテーション ヘルスアセスメント特論	看護研究法 看護継続教育 生理学特論	看護理論 看護管理学 保健経済論 看護統計学 薬理学特論	政策医療看護倫理
専門科目	国際看護学	国際看護学特論 A・Ⅰ 国際看護学演習 A・Ⅱ	国際看護学特論 A・Ⅱ 国際看護学特別研究	国際看護学演習 A・Ⅰ
	看護教育学	看護教育学特論 A・Ⅰ 看護教育学演習 A・Ⅱ	看護教育学特論 A・Ⅱ 看護教育学特別研究	看護教育学演習 A・Ⅰ
	看護情報・管理学	看護情報・管理学特論 A・Ⅰ 看護情報・管理学演習 A・Ⅰ 看護情報・管理学特別研究	看護情報・管理学特論 A・Ⅱ 看護情報・管理学演習 A・Ⅱ	
	成人看護学	成人看護学特論 A・Ⅰ 成人看護学演習 A・Ⅱ がん看護学特論 A・Ⅲ がん看護学演習 A・Ⅲ がん看護学実習 A・Ⅱ 成人看護学特別研究	成人看護学特論 A・Ⅱ がん看護学特論 A・Ⅰ がん看護学演習 A・Ⅰ がん看護学演習 A・Ⅳ がん看護学実習 A・Ⅲ	成人看護学演習 A・Ⅰ がん看護学特論 A・Ⅱ がん看護学演習 A・Ⅱ がん看護学実習 A・Ⅰ がん看護学実習 A・Ⅳ
	精神看護学	精神看護学特論 A・Ⅰ 精神看護学特論 A・Ⅳ 精神看護学演習 A・Ⅲ 精神看護学実習 A・Ⅲ	精神看護学特論 A・Ⅱ 精神看護学演習 A・Ⅰ 精神看護学実習 A・Ⅰ 精神看護学実習 A・Ⅳ	精神看護学特論 A・Ⅲ 精神看護学演習 A・Ⅱ 精神看護学実習 A・Ⅱ 精神看護学特別研究
	成育看護学	成育看護学特論 A・Ⅰ 成育看護学演習 A・Ⅰ 成育看護学演習 A・Ⅳ 成育看護学実習 A・Ⅲ	成育看護学特論 A・Ⅱ 成育看護学演習 A・Ⅱ 成育看護学実習 A・Ⅰ 成育看護学特別研究	成育看護学特論 A・Ⅲ 成育看護学演習 A・Ⅲ 成育看護学実習 A・Ⅱ
	長寿看護学	長寿看護学特論 A・Ⅰ 長寿看護学演習 A・Ⅰ 長寿看護学特別研究	長寿看護学特論 A・Ⅱ 長寿看護学演習 A・Ⅱ	
	感染管理看護学	感染管理看護学特論 A・Ⅰ 感染管理看護学特論 A・Ⅲ 感染管理看護学演習 A・Ⅱ 微生物学特論 感染管理看護学実習 A・Ⅰ 感染管理看護学実習 A・Ⅲ	感染管理看護学特論 A・Ⅱ 感染管理看護学演習 A・Ⅰ 感染管理看護学特別研究 感染症学特論 感染症学演習 感染管理看護学実習 A・Ⅱ	

後期課程（博士課程相当）

1 教育理念

前期課程（修士課程相当）で培ったヒューマンケアの精神、人間の健康に対する多面的な理解、科学的・論理的思考力の発展を図り、独創的な研究を自立して遂行できる人材を育成します。

2 教育目標

- (1) 看護実践の科学的根拠の発見、効果的・効率的な看護方法の開発、それらを通じた政策医療看護学の発展につながる独創的な研究を自立して遂行する能力を育成します。
- (2) 社会的諸状況を踏まえながら日本国民および世界の人々に研究成果を還元し、その健康と生活の質向上に貢献する能力を育成します。

3 教育の特徴

- 政策的機能看護学（国際看護学、看護教育学、看護情報・管理学）、先駆的臨床看護学（成人看護学、精神看護学、成育看護学、長寿看護学、感染管理看護学）の2分野から1分野を選び、前期課程（修士課程相当）において取り組んだ研究を発展させることができます。
- 専門分野の学修を行い、前期課程（修士課程相当）で培った能力を高めるとともに、博士（看護学）の学位取得に向けて特別研究論文を作成します。
- 特別研究論文を作成して学内審査に合格した後、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に申請し、論文の審査および試験に合格することにより、博士（看護学）の学位を取得できます。
- 専門分野の教員陣が、学生個々の関心や状況に応じて細やかに学修や研究を支援します。また、他分野の教員からも研究に対する指導や助言を得る機会が豊富にあり、それは、自己の研究や専門性に対する視野を広げたり客観視したりすることにつながります。

前期課程(修士)2年	後期課程(博士)3年
国際看護学 看護教育学 看護情報・管理学	政策的機能看護学
精神看護学 成人看護学 成育看護学 長寿看護学 感染管理看護学	先駆的臨床看護学

国立看護大学校研究課程部の概要

4 授業科目

後期課程（博士課程相当）

共通科目	政策医療看護学特論Ⅱ 質の看護学研究法 量の看護学研究法		
専門科目	政策の機能看護学	国際看護学特論 B	国際看護学演習 B
		看護教育学特論 B	看護教育学演習 B
		看護情報・管理学特論 B	看護情報・管理学演習 B
		政策の機能看護学特別研究	
	先駆の臨床看護学	成人看護学特論 B	成人看護学演習 B
		精神看護学特論 B	精神看護学演習 B
		成育看護学特論 B	成育看護学演習 B
		長寿看護学特論 B	長寿看護学演習 B
		感染管理看護学特論 B	感染管理看護学演習 B
		先駆の臨床看護学特別研究	